

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	372 献血推進事務					
予算科目	01-040101-11 献血推進事務に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	茨城県献血推進計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	献血対象者
目的	県内外の医療機関が必要とする輸血用血液製剤を円滑・安定的に供給できるようにする。
概要 (取組内容)	安全な血液製剤の安定供給の確保のために、①移動献血バスの配車計画作成、②協力企業・学校等への協力依頼訪問、③献血実施の広報（ポスター掲示、X（旧ツイッター）、Facebook、つくばスマートシティアプリ「つくスマ」での配信）、④献血協力者への粗品提供、⑤骨髄バンクドナー登録への支援、⑥骨髄提供者への助成等を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	596	596	596	668	668	
	決算額	(千円)	456	596	456	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	456	596	456	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,829	1,482	1,501	1,501	1,501	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	49.00	49.00	49.00	49.00	49.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、SNS等掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	献血バスで献血を実施した人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0
	実績	3,653.0	3,659.0	3,521.0	3,084.0	3,168.0	0.0
指標の概要	表現がわかりづらかったため、令和5年度より修正した。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城県赤十字血液センターと協力し、未実施の団体に個別で依頼を行い、新規協力団体の開拓に取り組んだ。献血者を確保するためにSNS・つくスマによる献血実施の周知を図った。	
成果	新型コロナウイルス感染症が5類になり、前年度より献血者が増えた。新規で協力を得られた団体数が3件増えて、輸血血液の供給量が向上した。	
課題	業務	献血者が新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、減少傾向であることや、血液供給量が逼迫しているため、引き続き献血協力企業、団体の確保及び献血協力の周知が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	茨城県赤十字センターと協力し、未実施の企業・研究所などに個別で依頼を行い、献血への新規協力企業、団体を開拓する。献血者を確保するための周知をしていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	373 休日緊急診療委託事業					
予算科目	01-040101-12 休日緊急医療に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	茨城県保健医療計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	医療法第30条の4第2項の5号			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	日曜、祝日、年末年始における緊急時の医療受診体制の確保
概要 (取組内容)	日曜、祝日、年末年始の診療を行うため、つくば市医師会へ業務委託する。 年末年始の診療体制等を確保するため、つくば市歯科医師会及びつくば薬剤師会へ業務委託する。 日曜・祝日・夜間に重症患者の救急治療・診療体制を確保するため、二次救急医療機関（5医療機関）に輪番制による業務委託を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	38,655	38,773	38,836	38,655	38,655	
	決算額	(千円)	23,993	38,453	38,826	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	23,993	38,453	38,826	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,854	1,482	1,501	1,501	1,501	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	49.00	49.00	49.00	49.00	49.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	休日緊急診療医療機関受診者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	6,197.0	2,649.0	3,332.0	5,050.0	7,052.0	0.0
	指標の概要	年間の休日緊急診療受診者数					

2	指標名	病院群輪番制利用患者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	10,698.0	6,823.0	8,478.0	9,600.0	10,267.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば市医師会と連携し、新規加入した医療機関や休日当番医にまだ加入していない医療機関に対して休日当番医の協力を依頼し、協力医療機関数を確保した。
成果	医師会と連携し、今年度は新規で3か所の医療機関の協力を得られ、64か所の医療機関の協力で5,875人(1月分まで)の患者に対応した。
課題	引き続き、つくば市医師会と連携しながら、休日当番医の新規協力医療機関の確保が必要となる。
改善目標	新規開業の医療機関情報や休日当番医に協力が得られそうな医療機関情報を医師会と共有し、医療機関に対して協力依頼することで、引き続き協力医療機関の確保に努める。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	374 新型インフルエンザ等対策事業						
予算科目	01-040101-15	新型コロナウイルス感染拡大防止に要				担当部課	保健部健康増進課
市長公約	58					係名	新型コロナウイルス対策室
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（義務）
						事業体制	職員のみ
個別計画	新型インフルエンザ等対策行動計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市民
目的	新型インフルエンザ等感染症の発生や感染拡大、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を可能な限り抑制し、市民生活や市民経済に及ぼす影響が最小となるように努める。
概要 (取組内容)	職員向けに講習会を開催し、新型インフルエンザ等感染症の基本的な知識と技術を高める。 感染症に関する情報を市ホームページ、広報に随時掲載する。 備蓄品（医療物資）の管理を行い、必要に応じて医療機関等へ備蓄品を配付する。 つくば市業務継続計画等の計画見直しを関係課と協働して行う。 市民に対し感染症に関する情報提供、感染症予防の普及・啓発を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	54,599	54,949	33,042	6,422	6,422	
	決算額	(千円)	53,569	69,561	2,828	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	2,828	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	47,658	61,250	0	0	0
		その他	(千円)	5,911	8,311	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	19,388	21,164	14,298	6,907	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.75	3.00	2.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	245.00	300.00	200.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	職員対象の講習会の参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	76.0	38.0	37.0	41.0	38.0	0.0
指標の概要	新型インフルエンザ等対策行動計画内容や感染症に関する基礎知識と予防方法等の講習会を開催する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視し、政府指針に基づき市民に情報発信や相談対応等を行った。	
成果	職員向け講習会を開催し、防護服の着脱や感染症の基本的な知識を深めた。感染症の情報を市HPや広報等に掲載し、感染症予防の普及・啓発し、市民の感染予防につながった。備蓄品（医療物資）の管理を行い、社会福祉施設等へ備蓄品を配布し、施設の感染防止につなげた。つくば市業務継続計画を関係課と見直し、円滑な業務を遂行できるようにした。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染症は、令和6年4月より通常への完全移行することから、あらゆる感染症をより多角的に注視し、市民に感染症対策の普及啓発を行っていく必要がある。国や県の新型インフルエンザ等対策行動計画改定に伴い、市の計画も見直しを行う必要がある。
	組織、予算等	新型インフルエンザ等感染症等が発生した場合には、感染状況に応じた事業展開と組織等の調整が必要である。
改善目標	国や県の新型インフルエンザ等対策行動計画改定に伴い、市の計画も見直しを行う必要がある。あらゆる感染症の感染動向を注視し、必要に応じて事業展開する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	375 健康増進計画事業（健康つくば21策定・推進事業）						
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費			担当部課	保健部健康増進課		
市長公約				係名	健康総務係		
戦略プラン				新規・継続	継続		
				事業分類	自治事務（義務）		
				事業体制	一部委託		
個別計画	第4期つくば市健康増進計画「健康つくば21」（令和3年度から令和7年度まで）			事業期間	毎年度		
根拠法令等	健康増進法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を		

事業の概要

対象	市民					
目的	健康寿命の延伸及び生活の質の向上、社会環境の質の向上					
概要 (取組内容)	健康増進法に基づき、市民に対して、第4期つくば市健康増進計画の推進と計画内容の啓発を行う。7つの施策として①生活習慣病の発症と重症化予防、②栄養・食生活、③生活活動と運動、④休養・こころの健康、⑤喫煙・飲酒、⑥歯と口腔の健康、⑦健康づくり・健康管理の支援を実施する。年度ごとに進捗管理を行う。					

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	460	558	741	6,646	5,720	
	決算額	(千円)	96	20	639	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	96	20	639	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,493	8,466	8,579	8,579	8,579	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業・イベント等でのチラシ配布による周知
企画・立案、計画	協議会
実行	アンケート（計画策定・中間評価）
評価、検証	協議会・アンケート（計画策定・中間評価）

指標の推移

1	指標名	イベント健康フェスタの来場者数(延人数)					(人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	9,000.0	9,000.0	9,000.0	9,000.0	0.0	0.0	
	実績	7,205.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要	令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止。令和4年度で健康フェスタ事業終了であるため、令和4年度から本指標を廃止する。						

2	指標名	啓発チラシの配布数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	180,000.0	180,000.0	180,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	174,469.0	179,688.0	0.0
	指標の概要	乳がん検診・骨粗しょう症・歯周病・禁煙等に関する啓発（社保加入者・レディース検診・成人歯科検診通知）令和4年度から1の指標を廃止したため、令和4年度から本指標を追加する。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	イベントや健診、健診勧奨通知等で、第4期つくば市健康増進計画を市民へ啓発・周知をした。	
成果	・第4期健康増進計画の重点施策である、働き世代の健康づくりやこころの健康維持を重点とした取組を実施できた。つくばフェスティバルにおいて、つくば市健康増進計画の啓発活動を行った。秋の集団健診受診者のうち2,800人に計画の概要版を配布した。計画の施策にある「乳がん検診、骨粗しょう検診、歯周病、禁煙」に関する啓発を179,688人に実施し、市民への健康づくりの普及が進んだ。	
課題	業務	第4期つくば市健康増進計画の推進を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	第4期つくば市健康増進計画中間評価をふまえ、計画内容の実施及び市民への啓発を進めていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	376 放射線検査費用助成事業					
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市東京電力原子力事故に係る放射性物質による健康影響検査受診費助成規則			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	助成対象者
目的	子どもたちや妊婦の健康不安の軽減を図る。
概要 (取組内容)	平成4年3月12日以降に生まれた者（東日本大震災当日18歳以下の者）で検査受診日につくば市に住民登録のある者、または検査受診日につくば市に住民登録のある妊婦に対して、甲状腺エコー検査またはホールボディカウンター検査（助成額 各検査上限3,000円）の助成を行う。助成回数は助成対象期間内においていずれかの検査1回となる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	60	60	60	60	60	
	決算額	(千円)	9	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,487	1,482	810	810	810	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	49.00	49.00	49.00	49.00	49.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、市広報紙等の掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	助成対象者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	2.0	22.0	3.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	年間の放射線物質による健康影響検査受診費助成者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	他自治体の取組状況を調査し、事業継続の可否について検討を行った。	
成果	健康影響に対する不安の軽減ができた。	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の不安軽減につながるよう引き続き、事業の周知を行う必要がある。 事業の目的や過去実績、他自治体の取組状況と照らし合わせ、事業継続の可否について検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事業の周知を行い、申請状況を確認する。 事業の目的や過去の実績、市民のニーズ、他自治体の取組状況を参考に、事業継続の可否について検討する必要がある。 	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	1	事務事業の廃止を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	377 健康づくり推進協議会関係					
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市健康増進計画「健康つくば21」			事業期間	毎年度	
根拠法令等	健康増進法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
	つくば市健康づくり推進協議会設置要項					

事業の概要

対象	市民
目的	市民の健康づくりを計画的かつ総合的に推進する。
概要 (取組内容)	市民の健康づくりを計画的かつ総合的に推進するために本協議会を設置する。協議会では、次に掲げる事項について協議する。 ①健康増進計画の策定、進行管理及び評価に関すること。②食育推進、歯科保健、自殺対策の推進に関すること。③健康づくりのための事業に関すること。④その他健康づくりのために必要と認められる事項に関すること。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	256	256	256	256	208	
	決算額	(千円)	96	144	136	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	96	144	136	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,970	2,962	2,999	2,999	2,999	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	協議会に市民委員が5名参加している。
企画・立案、計画	協議会に市民委員が5名参加している。
実行	協議会に市民委員が5名参加している。
評価、検証	協議会に市民委員が5名参加している。

指標の推移

1	指標名	会議開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	3.0	1.0	2.0	2.0	0.0
指標の概要	年間の会議開催回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市民アンケートを実施し、協議会の意見を踏まえ、第4期つくば市健康増進計画中間評価を作成した。
成果	第4期健康増進計画の具体的な施策等について委員から意見や助言を得ることができた。市民アンケートや活動計画及び前年度の活動実績内容を委員会で協議し、第4期つくば市健康増進計画の中間評価を行い、計画の第4期後半の事業運営を見直した。
課題	業務 健康づくりに関する取組について、委員による意見や助言を取り入れ、事業運営の参考とする必要がある。
	組織、予算等
改善目標	第4期つくば市健康増進計画中間評価の内容を鑑みながら、第4期後半の事業運営及び第5期の策定について意見、助言を得ながら策定していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	379 健康情報管理システム事業					
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	市民の健康情報を集積し分析を行い、実情に即した効果的な事業を実施するとともに、健康増進課、保健センター（桜・谷田部・大穂）、いきいきプラザ間の健康情報の共有化を図る。
概要 (取組内容)	市民の成人健診（検診）データ・母子保健データ・予防接種データ等をシステム内に入力をし、データの維持管理を行う。 蓄積された健康管理情報を集積し分析を行う。 各健診（検診）事業の受診者・未受診者の把握を行い、検診（健診）の受診勧奨や予防接種の接種勧奨を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,201	3,003	2,948	2,926	2,926	
	決算額	(千円)	3,069	2,919	2,867	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,069	2,919	2,867	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	342	681	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	各事業のデータ入力件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	178,300.0	180,300.0	182,300.0	184,300.0	186,300.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	数年先のシステム標準化を見据え、実務担当者レベルでの協議を集約し、システム改修を実施した。	
成果	各担当者の意見をもとに、事業内容に合わせた次年度の改修項目を決定し、次年度改修完了後の業務効率化を図った。	
課題	業務	市民の健康情報の共有化及び効率化を図るために、今後も定期的にシステムを見直し、改修していくことが必要である。
	組織、予算等	
改善目標	社会情勢の変化に対応できるシステムを構築するため、実務者レベルの協議を定期的実施する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	382 予防接種要注意者紹介制度事業					
予算科目	01-040102-11 予防接種に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	予防接種法第5条			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	疾病等の理由で、予防接種を受けるにあたり注意を要すると医師に判断された児。
目的	疾病等の理由で、予防接種を受けるにあたり注意を要すると判断された児に対して、専門的な医療機関に紹介することで、より安全な予防接種の実施を図る。
概要 (取組内容)	保護者の申請に基づき、茨城県が定めた予防接種要注意者紹介制度実施要領により指定されている専門的な医療機関に対し、予防接種依頼書を交付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,036	2,760	2,760	2,760	2,760	
	決算額	(千円)	1,987	1,735	1,381	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,987	1,735	1,381	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	681	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	予防接種依頼件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	29.0	35.0	29.0	32.0	26.0	0.0
指標の概要	要注意者用予防接種依頼書を発行した件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	医師に作成してもらった指示書の記載不備を減らすため、記載例や事業概要をまとめた資料を作成し、要注者受け入れ医療機関への説明を行った。	
成果	書類不備をなくし、申請から依頼書交付まで滞りなく進められたことにより、予防接種要注者が、適切な時期に、専門的な医療機関において安全に予防接種を受けることができた。	
課題	業務	接種直前になって申請する方が多く、急ぎの処理や医療機関との調整を要するケースがほとんどである。
	組織、予算等	出先機関を含め4か所の窓口で申請を受け付けるため、標準化した対応の必要性がある。
改善目標	市民と医療機関の双方に対し手続き内容の周知を図るため、ホームページの内容を改善し、接種予定日の2週間前までの申請数を増やす。市民のニーズに応じて医療機関と委託契約を締結することで、受け入れ態勢を整える。職員向けの事務処理マニュアルを見直し、事業理解度や市民への案内の水準を統一する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	383 母子健康診査事業					
予算科目	01-040103-11 母子健康診査に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン			事業期間	毎年度	
根拠法令等	母子保健法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	妊産婦及び乳幼児
目的	疾病や心身の異常の早期発見及び育児支援
概要 (取組内容)	妊婦の健康管理及び疾病の早期発見、早期治療ができるように、妊婦健診受診券を交付する。産後うつや早期発見など産後の初期の段階における母子支援を強化するため、産婦健診受診券を交付する。児の聴覚障害の早期発見のため、新生児聴覚検査の受診券を交付し、公費助成を行う。乳児の健康管理の向上を図るとともに、育児不安の軽減のために乳児健診受診券を交付する。対象者に個別通知を行い、集団での1歳6か月及び3歳健診、医療機関での1歳6か月及び3歳歯科検診を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	271,457	280,967	291,672	286,185	286,185	
	決算額	(千円)	224,681	268,373	273,151	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	213,912	258,252	257,180	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	10,329	10,121	15,971	0	0
		その他	(千円)	440	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	34,207	38,248	41,414	40,844	40,844	
	内訳	正職員従事割合	(人)	4.80	5.50	5.80	5.80	5.80
		正職員時間外勤務	(時間)	578.00	324.00	559.00	324.00	324.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	1歳6か月健診受診率 (%)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	97.0	97.0	97.0	97.0	98.5	98.5
	実績	92.7	101.3	96.8	97.3	98.6	0.0
	指標の概要						

2	指標名	1歳6か月歯科検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	80.0	80.0	85.0	86.0	86.0
	実績	0.0	64.9	85.1	80.9	85.7	0.0
	指標の概要						
3	指標名	3歳健診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	97.0	97.0	97.0	97.0	98.5	98.5
	実績	90.5	100.7	95.0	98.7	97.8	0.0
	指標の概要						
4	指標名	3歳歯科検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	58.5	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、問診やブラッシング指導などの実施を復活した。また、新たな屈折検査機器を11月から導入し、視覚検査の充実を図った。内科医師の確保のため、新規開業医療機関医師に幼児健診協力について依頼した。	
成果	多胎妊娠の妊婦支援として、「多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業」を開始した。また、3歳健康診査では、屈折検査機器を導入し、目の異常を早期発見し、適切な治療に繋げることができた。3歳歯科検診を個別検診に移行し、より良い環境での受診に繋がった。	
課題	業務	新たな5歳児健診の導入に向けて、健診の内科医師の確保が難しい。幼児健診における利用者の利便性と事業の効率化を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	5歳児健診開始に向けて、医師の確保等を含めた準備を進める。幼児健診における利用者の利便性と事業の効率化を図るため、オンライン予約システムを導入する体制を整える。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	389 養育医療給付事業					
予算科目	01-040103-14 養育医療給付に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	法定受託事務	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	母子保健法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	母子保健法第6条第6項に規定する未熟児で、医師が入院養育を必要と認めた者。
目的	未熟児に対して、生後速やかに必要な医療の給付を行い、保護者の経済的な負担を軽減する。
概要 (取組内容)	未熟児に対して出生後速やかに適切な処置を講ずる必要があることから、指定養育医療機関において、必要な医療の給付を受けることができるように、養育医療申請に対し速やかに審査等を行い給付の決定をし医療券を交付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	10,739	9,997	10,453	13,153	13,153	
	決算額	(千円)	10,473	12,805	10,371	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,753	3,007	1,159	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,168	5,796	6,393	0	0
		その他	(千円)	2,552	4,002	2,819	0	0
人件費	人件費計	(千円)	704	793	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	8.00	45.50	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページ
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	養育医療券交付者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	31.0	31.0	35.0	40.0	36.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	期限内に納付がされなかった者に対しては、個別に納付勧奨を行い、年度内は全額収納することができた。また、令和5年度の前半は養育医療給付費が想定よりも多かったため補正予算で予算確保の対応している。	
成果	養育医療券を交付することで、保護者の経済的負担を軽くし、児に対して必要な医療を提供することができた。	
課題	業務	診療時期から数か月後が保護者負担金の納付時期となるため、期限内に納付されない者がいる。
	組織、予算等	養育医療給付費は養育医療券の交付人数に比例せず、1人の対象者に多額の予算がかかることもあることから、予算の見積もりが難しい。
改善目標	歳出予算執行状況を確認しながら必要な予算を確保できるようにしていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	392 生活習慣病予防教育事業					
予算科目	01-040104-12 健康教育・相談に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市健康増進計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	健康増進法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	健康管理に関する自己管理能力を支援し、生活習慣病の予防及び生活習慣病患者の増加を防ぐ。
概要 (取組内容)	健康アップ講演会：健康に関する講演会を開催する。 出前健康講座：交流センター・地区の集会所等希望する場所に出向き、健康講話・健康相談・栄養相談を実施する。 普及啓発活動：乳幼児健診及び大人の集団健診会場において、乳がん・骨粗鬆症・禁煙・歯周病予防のチラシの配布やミニ講話を実施する。 各種検診・予防接種予定表「ライフプランすこやか」を発行し、配布する。 禁煙外来治療を終了した者に対し、助成金を交付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,718	5,547	2,924	2,924	3,586	
	決算額	(千円)	1,436	4,321	2,376	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,236	4,121	1,996	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	200	200	380	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,567	18,387	16,576	16,576	16,576	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	2.70	2.40	2.40	2.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	市民の各種事業への参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50,000.0	50,000.0	50,000.0	200,000.0	200,000.0	200,000.0
実績	44,989.0	26,265.0	116,163.0	122,056.0	122,328.0	0.0	
指標の概要	健康アップ講演会参加者、乳がん・骨粗しょう症・歯周病・禁煙等に関する啓発。令和4年度よりチラシの配布等を含む啓発者数とする。						

2	指標名	禁煙外来助成事業申請者数 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	40.0	40.0	40.0	45.0	45.0
	実績	0.0	31.0	25.0	8.0	3.0	0.0
	指標の概要	禁煙外来助成事業申請者数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	禁煙外来治療助成事業では、事後申請が可能になったことを市内医療機関へのチラシの設置や市ホームページで周知した。来所や個人通知以外にSNSを活用した啓発を実施した。	
成果	普及啓発事業では、健診等の個人通知へのチラシの同封や健診事業で来所した方にチラシを同封するなどして啓発を実施した。集団健診など多くの利用者いる事業では、チラシの配布や資料の展示を実施することで多くの市民に啓発を実施することができた。	
課題	業務	講演会や教室をより多くの方に参加していただくため、内容の見直しやSNSを活用した周知方法の検討が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	経費削減とより多くの市民に啓発活動を行うため、積極的にSNSを活用していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	394 生活習慣病予防相談事業					
予算科目	01-040104-12 健康教育・相談に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市健康増進計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	健康増進法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	生活習慣の予防と悪化を防ぎ、健康増進を図る。
概要 (取組内容)	家庭訪問指導を行う。 基本健診時健康相談、事後指導を行う。 成人健康相談：保健師、栄養士による個別健康相談を行う。 健康手帳の交付を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	479	467	3,586	7,955	7,955	
	決算額	(千円)	171	353	3,224	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5	120	2,902	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	166	233	322	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,667	20,430	20,720	20,720	20,720	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	健康相談利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4,000.0	4,000.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	5,000.0
	実績	4,863.0	2,004.0	1,524.0	1,135.0	1,349.0	0.0
	指標の概要	基本健診時相談・成人健康相談等の利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	保健師や栄養士による健康相談を希望する方が相談できるよう、健診結果等に成人健康相談のチラシを同封して周知し健康相談ができるよう対応した。また、市ホームページにて周知した。				
成果	保健師や栄養士による相談を希望する方を対象とする成人健康相談や家庭訪問、電話による個別の健康相談を実施し、相談者の支援を行った。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>引き続き、相談事業に関する周知をする必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	引き続き、相談事業に関する周知をする必要がある。	組織、予算等	
業務	引き続き、相談事業に関する周知をする必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	市民に相談事業を周知するため、健診結果に成人健康相談のチラシを同封し周知するだけでなく、講演会やイベントにおいてもチラシを配布するなどして事業を周知し、健康相談利用者を増やす。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	396 医療保護入院に関する業務					
予算科目	01-040104-13 精神保健に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（第33条3項）			SDGs		

事業の概要

対象	医療と保護のため精神科病院への入院が必要とされ、患者本人に代わり同意できる家族等がない者
目的	精神科病院への入院が必要となり、病状的に本人が同意できず、且つ代わりに同意できる家族等がない場合は、市長が同意者となることで適切な治療が実施できるようにする。
概要 (取組内容)	市長同意による医療保護入院の依頼があった際に、市長同意の事務処理を適切に行い、対象者に適切な治療を受けさせる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	681	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	医療保護入院の手続き人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5.0	6.0	7.0	6.0	7.0	0.0
指標の概要	医療保護入院の手続き人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	適切に事業を実施するため精神保健福祉法に規定される精神障害者の権利擁護の必要性を十分に理解した上で、速やかな事務処理を実施した。	
成果	精神保健福祉法に規定される精神障害者の人権擁護を考慮しながら、必要な事務処理を速やかに実施する体制を構築できた。 また、市長同意の医療保護入院により、患者にとって必要な医療に繋ぐことができた。	
課題	業務	市長同意の決定をするまでの事務処理期間の短縮化が必要である。
	組織、予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	397 保健センター施設管理事務					
予算科目	01-040106-11 保健センター管理に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	市民が安全に保健センターを利用できるようにする。
概要 (取組内容)	保健センターに係る保守点検委託及び保健センター内の修繕及び修繕工事を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	21,604	54,890	137,604	70,048	70,048	
	決算額	(千円)	20,738	28,261	117,643	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	20,738	28,261	117,643	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,970	2,962	2,999	2,999	2,999	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	施設保守点検管理委託数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	32.0	32.0	27.0	24.0	18.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	定期的な保守点検委託を行いつつ、不具合箇所については、優先度、緊急度を考慮しながら修繕を実施することができた。
成果	施設管理を計画的に行うことで、市民の利用環境の維持、向上を図ることができた。長寿命化計画を作成し、今後の修繕見通しを立て、長期的な施設維持の取組みに寄与した。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	長寿命化計画に沿った不具合箇所の修繕や維持管理に必要な保守点検委託を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	403 いきいきプラザ運営管理事業					
予算科目	01-040105-12 健康増進施設いきいきプラザ管理に要			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市健康増進施設いきいきプラザ条例、つくば市健康増進施設いきいきプラザ条例施行規則			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	市民が生涯を通じて健康を維持し、健康で豊かな生活をしていくため、運動を通じて基礎体力の向上を図る。
概要 (取組内容)	アリーナ貸出業務（施設使用料徴収事務を含む。）、施設管理業務（維持管理を含む。） 大学や専門学校からの体験実習生の受入等

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,653	7,690	7,855	7,855	7,855	
	決算額	(千円)	5,161	7,246	9,444	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,688	6,609	8,717	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	473	637	727	0	0
人件費	人件費計	(千円)	709	706	2,097	2,097	2,097	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	アリーナ利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	12,000.0	12,000.0	12,000.0
	実績	9,058.0	6,619.0	7,198.0	12,220.0	12,667.0	0.0
	指標の概要	アリーナ貸出し延べ利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<p>駐車場事故防止のため、施設の定期利用状況と入退の時間等を利用者に案内し、情報共有をすることにより混雑緩和に務めたほか、玄関ポーチ隅部に接触防止用のポールを設置し、注意喚起を行った。また、玄関ポーチのタイルを張替え、アリーナ入口蛍光灯をLED照明に交換し、環境整備を行った。</p>	
成果	<p>駐車場における事故の防止に努めたこと、また、玄関ポーチのタイルの張替え及びアリーナ入口蛍光灯のLED照明への交換による施設の環境整備により、施設利用者の安全・安心が向上した。このことにより、施設利用者が増加し、市民の健康維持につながった。</p>	
課題	業務	アリーナ貸出業務は、平日の夜間を含め休日も委託により施設の貸出を行っているため施設内外の事故防止、連絡調整の徹底が必要である。
	組織、予算等	老朽化により突発的な修繕が多いので、施設管理委託業者と協力して早めに対応する。
改善目標	いきいきプラザ維持管理については、委託業者と連絡、打合せを頻繁に行い円滑な施設利用を実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	404 いきいき・元気はつらつ運動教室						
予算科目	08-030201-13	いきいき・元気はつらつ運動教室事業				担当部課	保健部健康増進課
市長公約						係名	
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	第4期つくば市健康増進計画「健康つくば21」					事業期間	毎年度
根拠法令等	健康増進法、介護保険法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	65歳以上の市民
目的	健康意識を高めることで転倒・寝たきり予防、生活機能の維持向上を図る。
概要 (取組内容)	介護予防を目的とした対象年齢65歳以上の運動教室を実施する。いきいき運動教室と元気はつらつ運動教室がある。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	6,727	6,735	7,125	9,127	9,127	
	決算額	(千円)	4,684	6,632	7,166	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,218	1,227	1,386	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,616	1,628	1,770	0	0
		その他	(千円)	1,850	3,777	4,010	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,099	2,092	2,812	2,812	2,812	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載
企画・立案、計画	—
実行	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載
評価、検証	参加後アンケート

指標の推移

1	指標名	いきいき運動教室参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
	実績	3,824.0	1,567.0	1,932.0	2,913.0	3,024.0	0.0
	指標の概要	いきいき運動教室（65～74歳）参加延人数					

2	指標名	元気はつらつ運動教室参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
	実績	4,050.0	2,049.0	1,945.0	2,837.0	2,949.0	0.0
	指標の概要	元気はつらつ運動教室(75歳以上)参加延人数					
3	指標名	いきいき運動教室参加実人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
	実績	119.0	85.0	80.0	96.0	96.0	0.0
	指標の概要	いきいき運動教室(65~74歳)参加実人数					
4	指標名	元気はつらつ運動教室参加実人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
	実績	124.0	100.0	82.0	91.0	96.0	0.0
	指標の概要	元気はつらつ運動教室(75歳以上)参加実人数					
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新規参加者を増やすために、X(旧:ツイッター)、区会回覧、ホームページ、市報、各事業でチラシ配布などの周知活動を行った。					
成果	X(旧:ツイッター)や区会回覧などの周知活動を行ったことで新規参加者の申込みがあり、いずれの教室でも参加延人数が増加した。元気はつらつ運動教室は参加実人数も増加し、介護予防に繋がった。元気はつらつ運動教室の参加者に対してフレイルに関するアンケートを行い、分析結果からオーラルフレイルと転倒予防の講話を行い健康意識を高めることができた。					
課題	業務	いきいき運動教室は5年在籍制度による卒業や年齢によるコース変更があり、参加者が減少しやすい。				
	組織、予算等					
改善目標	高齢者に関する情報を取り扱っている地域の民間情報誌などに掲載を依頼するなど、様々な方法で周知活動を行い、引き続き、新規参加者を増やしていく。年齢別の各教室において、握力アップや転倒予防のための運動を積極的に取り入れていく。					

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	954 定期予防接種事業					
予算科目	01-040102-11 予防接種に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	予防接種法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	予防接種法によって行われるワクチンを接種することで、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
概要 (取組内容)	定期の予防接種を行う。対象となる市民に対し、個人通知や市ホームページ等を通して、予防接種に関する知識の普及、接種勧奨を行う。 予防接種後に何らかの健康被害等が生じたときの相談窓口となる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	694,752	772,118	950,530	1,036,716	1,036,716	
	決算額	(千円)	568,787	774,805	818,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	553,259	759,876	818,500	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15,528	14,672	0	0	0
		その他	(千円)	0	257	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,938	25,102	24,906	24,906	24,906	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.40	3.50	3.50	3.50	3.50
		正職員時間外勤務	(時間)	632.00	518.00	302.00	302.00	302.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、つくっこ！すくすくアプリ、市報、ライフプランすこやか、つくば子育てハンドブック、個人通知
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	麻しん風しん混合ワクチン第2期接種率 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
実績	97.6	96.8	97.8	96.9	95.7	0.0
指標の概要	対象者（R5.4.1時点の5歳児）に対しての実績					

2	指標名	高齢者肺炎球菌接種率(65歳) (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	50.0	57.0	50.0	50.0	50.0
	実績	49.7	56.5	42.4	45.7	50.2	0.0
	指標の概要	対象者 (R5. 4. 1時点の65歳の者) に対して実績					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	予防接種間違いについては、予防接種協力医療機関説明会や間違い防止のための資料の送付等を行い注意喚起を行った。個別勧奨通知の間違いを防ぐため、予診票枚数の多いものや、通知数の多いものは次年度に向け通知作成外部委託体制を整えた。	
成果	協力医療機関に対し間違い接種についての情報提供を行い、必要時個別に対応したことで昨年度26件であった報告数が17件と減少した。	
課題	業務	予防接種制度の改正が続き、委託医療機関における予防接種制度の理解の差が大きいため説明が必要である。予防接種の個人通知の通数および種類が多いため、委託等で進めていく必要がある。定期予防接種の種類が増え、事務処理に要する時間が増加しているため効率的な処理体制を整えていく必要がある。
	組織、予算等	予防接種接種者数の予測が難しいため、予算超過となる可能性がある。
改善目標	委託医療機関に対し、より理解を促す対応策を検討する。 接種者数が予測より増えた時は、補正予算で対応する。 通知作成の委託やRPA等の利用など事務量削減に努める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	令和6年度より高齢者コロナワクチンが定期接種となるため、委託料が増加するため。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	955 任意予防接種事業					
予算科目	01-040102-11 予防接種に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市行政措置予防接種実施要項			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
	つくば市法定外予防接種実施要項					

事業の概要

対象	市民
目的	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
概要 (取組内容)	予防接種法に基づかない任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜ、大人の風しん、免疫消失再接種）を協力医療機関に委託し実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	48,398	44,921	53,593	52,933	52,933	
	決算額	(千円)	36,673	40,469	38,404	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	36,673	40,469	38,404	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,859	7,339	7,218	7,218	7,218	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	291.00	216.00	128.15	128.15	128.15
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	おたふくかぜワクチン1歳児接種率 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	95.0	90.0	98.0	98.0	98.0
	実績	87.9	96.7	94.9	94.9	93.3
指標の概要	対象者（R5.10.1時点の1歳児）に対しての実績					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	当初計画どおり遂行できた。	
成果	子宮頸がんワクチン任意接種の償還払いは、延べ28件の申請があり、自費で接種した人に対して支援をした。小児インフルエンザの償還払い申請に電子申請を導入し、申請者の利便性と担当者の事務負担軽減を図った。骨髄移植後の再接種についての問い合わせが増え、該当児の申請があった。	
課題	業務	令和6年度が最終年度となる事業は申請・接種漏れがないよう周知する。
	組織、予算等	
改善目標	令和6年度が最終年度となる予防接種の周知を徹底する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	002 在宅血液透析患者助成金支給事業					
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	健康総務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	助成対象者
目的	在宅血液透析患者の経済負担を回り、在宅福祉の増進に資する。
概要 (取組内容)	在宅で血液透析を一月につきおおむね10回以上行った場合に、その月の電気料及び水道料金に対して10,000円/月を支給する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	360	360	360	360	360	
	決算額	(千円)	240	250	360	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	240	250	360	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	743	740	750	750	750	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	助成対象者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業周知のため引き続き市HPに掲載した。
成果	在宅血液透析患者に対して助成金を交付し、経済的負担の軽減を図った。 当該年度の最終月の実績報告にあたり、つくば市在宅血液透析患者助成金支給要綱の改正を行い、申請者が簡便に報告できるようにした。
課題	令和元年度に開始した事業であり、認知度が低いため周知する必要がある。
改善目標	在宅血液透析を推奨する医療機関の把握に努め、適宜事業の周知を行う。 問合せがあった際の新規希望対象者には個別に事業の説明を行い、周知を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	130 出産・子育て応援給付金支給に要する経費					
予算科目	01-040103-15 出産・子育て応援給付金支給に要する			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	出産・子育て応援交付金交付要綱			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備する。
概要 (取組内容)	保健師等による妊産婦面談等を通して必要な支援につなげる伴走型相談支援及び出産・子育てを応援するための経済的支援として「出産応援給付金」と「子育て応援給付金」をそれぞれ5万円給付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	332,233	439,873	242,703	242,703	
	決算額	(千円)	0	18,119	501,603	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	2,960	39,750	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	15,159	461,853	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	9,226	9,226	9,226	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	956.25	956.25	956.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、市報、ライフプランすこやか、個人通知等での周知
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	出産応援給付金支給決定数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	273.0	5,717.0	0.0
	指標の概要	令和5年2月事業開始 出生数が変わるため目標値は未設定					

2	指標名	子育て応援給付金支給決定数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	27.0	4,181.0	0.0
	指標の概要	令和5年2月事業開始 出生数が変わるため目標値は未設定					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	出産応援給付金：5,717件、子育て応援給付金：4,181件の支給を行い、必要な支援等につなげる伴走型相談支援と、出産・子育てを応援するための経済的支援を行った。	
課題	業務	給付金事業については、申請から交付決定までを紙媒体で処理しており、システムへの入力や交付決定の発送作業等が大きな負担となっているため、業務改善が必要である。
	組織、予算等	伴走型相談支援事業は、保健師等の専門職による対応が必須であり、人材確保が必要である。
改善目標	給付金の申請に電子申請やRPA処理を導入することで、事務負担の軽減を図る。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	子育て世帯の流入人口増に伴い、今後も需要の高まりが見込まれる。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	390 健（検）診事業					
予算科目	01-040104-11 健診事業に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン	II-2	1	1	健康診査、がん検診の受診率の向上	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	健康増進計画「健康つくば21」				事業期間	毎年度
根拠法令等	健康増進法 等				SDGs	

事業の概要

対象	検診年齢20歳以上の市民
目的	市民が生涯にわたり健康な生活をおくることができるように、病気の早期発見・早期治療体制の充実を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、胃がんリスク検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診、基本健診、成人歯科検診の実施 受診方法：集団及び個別(医療機関)健診の2種類 <p>新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 健康増進事業、茨城県がん予防・検診促進事業</p>

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	280,845	281,072	281,629	284,726	284,726	
	決算額	(千円)	247,503	258,391	220,220	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	188,271	225,211	188,566	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	19,080	19,826	19,280	0	0
		その他	(千円)	40,152	13,354	12,374	0	0
人件費	人件費計	(千円)	39,529	49,626	43,379	43,379	43,379	
	内訳	正職員従事割合	(人)	5.50	7.00	6.00	6.00	6.00
		正職員時間外勤務	(時間)	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページ、「ライフプランすこやか」掲載、個人通知案内
企画・立案、計画	特になし
実行	集団健診、医療機関健診の実施 国・県への補助事業の申請等
評価、検証	つくば市健康増進計画「健康つくば21」 地域保健・健康増進事業報告

指標の推移

1	指標名	大腸がん検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	9.2	6.1	7.8	8.0	8.3	0.0
	指標の概要	(II-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 受診率算定式：40歳以上受診人数/40歳以上の市の人口					

2	指標名	肺がん検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	8.2	2.5	5.4	5.9	5.7	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 受診率算定式: 40歳以上の受診人数/40歳以上の市の人口					
3	指標名	胃がん検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	3.6	0.9	3.0	3.1	3.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 受診率算定式: (胃バリウム検診受診者+胃内視鏡検診受診者数)/40歳以上の市の人口					
4	指標名	乳がん検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	15.0	15.0	17.0	17.0	18.0	18.0
	実績	15.8	15.5	16.8	16.4	16.5	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 受診率算定式: 36歳以上女性で偶数年齢の受診者数/36歳以上女性で偶数年齢の市の人口					
5	指標名	子宮がん検診受診率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	11.1	10.9	11.7	11.5	12.5	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 受診率算定式: 20歳以上の受診人数/20歳以上女性の市の人口					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	個別通知にがん検診の早期発見・治療の重要性の掲載やホームページやSNS等でがん検診の周知を行った。	
成果	がん検診受診勧奨では、特に大腸がん検診についてチラシの作成や個別通知で啓発をし、前年度より受診者数が増加した。がん講演会時に、がん検診のポスターの掲示を行い市民に周知を行った。職域連携として、協会けんぽ健診時に肺がん検診を同時実施し、受診率の向上につながった。	
課題	業務	生活習慣病の重症化予防及びがんの早期発見・早期治療のために、受診率向上対策が必要である。
	組織、予算等	受診率向上に伴い、健診委託料の市の負担分が増加するため、予算の確保が重要となる。
改善目標	各種がん検診の受診率向上のため、対象年齢や自己負担金の見直しを行い受診者数の増加を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	399 特定保健指導に関する業務 (事業主管課：国民健康保険課)					
予算科目	02-050101-12 特定健診事業に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン	II-2	1	1	健康診査、がん検診の受診率の向上	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務 (義務)
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市特定健康診査等実施計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	高齢者の医療確保に関する法律、国民健康保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	集団健診で特定健診を受診した結果、保健指導レベルが動機付け支援となった方
目的	糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的とする。
概要 (取組内容)	保健師または管理栄養士による健診結果個別相談(初回面接) 支援レター送付(栄養、運動に関する情報提供) 個別支援(電話、面接、手紙) 3か月後評価 令和3年度～積極的支援については外部委託とする

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,834	13,620	13,813	13,813	13,813	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	集団健診にて、保健指導の実施と特定保健指導の案内を行う (初回面接分割実施)
企画・立案、計画	—
実行	初回面接成立後から3ヵ月後にアンケート送付 (特定保健指導3ヵ月評価)
評価、検証	初回面接成立後から3ヵ月後にアンケート送付 (特定保健指導3ヵ月評価)

指標の推移

指標名	集団健診における特定保健指導 (動機づけ支援) 実施率 (%)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	45.5	50.0	55.0	60.0	65.0	0.0
	実績	36.7	32.4	37.5	52.9	56.5	0.0
指標の概要	つくば市特定健康診査等実施計画 (第3期平成30年度～令和5年度) の達成目標。						

2	指標名	集団健診における特定保健指導（積極的支援）実施率（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	13.2	18.2	28.2	38.2	45.0	0.0
	実績	15.7	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市特定健康診査等実施計画の目標達成。令和2年度までは集団健診における実績とする。令和3年度からは国民健康保険課にて外部委託となったため、本指標を廃止する。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度に分割実施によって向上した利用率・実施率を維持するために、健診当日の保健指導対象者の案内漏れがないように徹底を図った。また、健診時に初回面接を実施できなかった方に対しては、来所による特定保健指導の案内を行い実施した。	
成果	健診当日に対象者に向けて、特定保健指導を実施することで、利用率の向上につながった。また、継続的な保健指導を希望者に対して、引き続き電話フォローを行い、継続支援を実施したことで、実施率の維持につながった。	
課題	業務	次年度も利用率・実施率の維持向上をするために、実施方法の工夫をしていく必要がある。
	組織、予算等	主管課である国民健康保険課と連携を図りながら、効率的に事業を進めていく必要がある。
改善目標	初回面談後に連絡がつかず、特定保健指導利用につながらなかった対象者について、行動変容ステージを踏まえて原因の分析を行う。分析結果に応じたアプローチを実施することで実施率の維持と向上を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	401 出前健康教室事業					
予算科目	08-030201-12 出前健康教室事業に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約	43			係名		
戦略プラン	II-2	1	2	健康づくりのための運動・スポーツの推進	新規・継続	継続
	II-2	2	2	ボランティア事業の推進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	第4期つくば市健康増進計画「健康つくば21」				事業体制	一部委託
	根拠法令等	介護保険法、健康増進法、国民健康保険法				事業期間
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	つくば市民で常時5人以上が参加できる団体（65歳以上）
目的	健康寿命を延ばし、地域に貢献する元気な高齢者を増やし、介護保険給付費の抑制を図る。
概要 (取組内容)	65歳以上で構成される5名以上の団体に対し、地区の集会所や研修センターに出向き体操や健康講話を実施する。シルバーリハビリ出前体操教室と健康体操教室（65歳以上）がある。 シルバーリハビリ体操指導士3級養成の他、隔年で運動普及推進員の養成等を行う。 ※令和5年度から予算科目名が、出前教室事業に要する経費から、出前健康教室事業に要する経費に変更になった。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	17,700	17,726	17,681	20,307	20,307	
	決算額	(千円)	11,666	14,072	15,906	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,033	3,658	4,295	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,024	4,854	5,487	0	0
	その他	(千円)	4,609	5,560	6,124	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	6,443	6,423	9,960	9,960	9,960	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.90	1.40	1.40	1.40
		正職員時間外勤務	(時間)	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載
企画・立案、計画	—
実行	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載
評価、検証	参加後アンケート

指標の推移

1	指標名	健康体操教室（65歳以上）参加延人数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,300.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0
	実績	6,576.0	2,830.0	3,446.0	4,828.0	5,538.0	0.0
指標の概要	健康体操教室（65歳以上）参加延人数。健康体操教室は、健康体操教室（65歳以上）と健康体操教室（65歳未満も含む）がある。						

2	指標名	シルバーリハビリ出前体操教室参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	28,000.0	28,000.0	28,000.0	28,000.0	28,000.0	28,000.0
	実績	25,180.0	1,281.0	3,403.0	16,873.0	17,703.0	0.0
	指標の概要	シルバーリハビリ出前体操教室参加延人数 ※暫定値 (R6.1月末)					
3	指標名	シルバーリハビリ体操指導士養成者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	15.0	15.0	20.0	20.0
	実績	15.0	0.0	14.0	18.0	12.0	0.0
	指標の概要	シルバーリハビリ体操指導士3級養成者数。令和3年度及び4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため応募定員数の見直し実施。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	チラシの配布、市報掲載、区会回覧、地区活動を行い、参加者や新規団体を増やした。シルバーリハビリ体操指導士養成講習会を実施しボランティア活動の担い手を増やした。					
成果	シルバーリハビリ出前体操教室：参加延人数や新規団体が増え、シルバーリハビリ体操指導士3級を12名養成し、年度後半から地域での出前教室でボランティア活動を開始することで健康寿命を延ばすことに寄与した。健康体操教室(65歳以上)：様々な周知活動を行うことで、参加延人数が増加し、元気な高齢者の増加を進めた。					
課題	業務	今後も参加者や団体数を増やすため、周知活動を積極的に行う必要がある。				
	組織、予算等	シルバーリハビリ出前体操教室及び健康体操教室(65歳以上)は、ボランティアと団体とも高齢者のため、今後も継続した活動を行うためにシルバーリハビリ体操指導士と参加者を増やすことが必要である。				
改善目標	参加者や新規団体を増やすために、他事業でのチラシの配布や高齢者に関する情報を取り扱っている民間情報誌などに掲載を依頼するなど、様々な方法で周知活動を行う。令和6年度では、シルバーリハビリ体操指導士3級及び1級を養成し、ボランティア活動の担い手を増やしていく。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	新規団体の申込みが増えており、対応のため事業費を増額した。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	402 運動推進事業					
予算科目	01-040105-11 運動推進に要する経費				担当部課	保健部健康増進課
市長公約					係名	
戦略プラン	II-2	1	2	健康づくりのための運動・スポーツの推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	第4期つくば市健康増進計画「健康つくば21」				事業期間	毎年度
根拠法令等	健康増進法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市民等
目的	疾病予防や運動の習慣づけを目指し、健康寿命を延伸する。健康寿命を延ばし、地域に貢献する元気な高齢者を増やすとともに、世代間交流を通して地域コミュニティの活性化を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・40～64歳までの中高年齢者を対象としたアクティブ運動教室を実施する。 ・つくばウォークの日では、市民に限らず、健康づくり・介護予防及び運動習慣の普及として、ウォーキングを推進する。 ・健康体操教室(65歳未満も含む)では、5名以上の団体に対し地区の集会所や研修センター等に出向き、体操や健康講話を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7,692	7,524	7,071	7,130	7,130	
	決算額	(千円)	5,507	5,105	5,356	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,207	4,792	4,946	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	300	313	410	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,076	5,085	7,914	7,914	7,914	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	120.00	130.00	130.00	130.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載
企画・立案、計画	つくばウォークの日は、運動普及推進員の協力を得て計画
実行	チラシを市内各施設に配置、区会回覧、ホームページ掲載、市報掲載、X掲載 つくばウォークの日は、運動普及推進員と連携して実施
評価、検証	参加後アンケート

指標の推移

1	指標名	アクティブ運動教室参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,700.0	1,700.0	1,700.0	1,700.0	1,700.0	1,700.0
	実績	1,778.0	781.0	959.0	1,006.0	1,211.0	0.0
	指標の概要	(II-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) アクティブ運動教室参加延人数					

2	指標名	つくばウォークの日参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	500.0	840.0	860.0	880.0	900.0	920.0
	実績	818.0	469.0	847.0	977.0	740.0	0.0
	指標の概要	つくばウォークの日参加延人数 ※令和5年度は雨天のため年間5回のうち2回中止。					
3	指標名	健康体操教室(65歳未満も含む)参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0	5,300.0
	実績	3,564.0	1,668.0	1,813.0	2,593.0	2,606.0	0.0
	指標の概要	健康体操教室(65歳未満も含む)参加延人数。健康体操教室は、健康体操教室(65歳以上)と健康体操教室(65歳未満も含む)がある。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	X(旧:ツイッター)やホームページ、各事業でのチラシ配布等の周知活動を行った。特に健康体操教室では活動団体がいない地区での新規団体を増やしていくため周知に努めた。					
成果	アクティブ運動教室及び健康体操教室: SNSや区会回覧等により新規参加者、団体の申込があり、運動参加者を増やした。健康体操教室の活動団体がいない地区においても新規団体の申込があった。つくばウォークの日ではイベントウォーク、地区ウォークを実施し、ウォーキングに興味を持ってもらえるように新しいコースを開拓し、気軽に参加できるように歩行距離の見直し元気な高齢者が増えるよう推進した。					
課題	業務	アクティブ運動教室は5年卒業制度による卒業や年齢によるコース変更があり、参加者が減少しやすい。健康体操教室(65歳未満も含む)は、既存団体への支援や新規団体の開拓を継続して行う必要がある。つくばウォークの日は、高齢の参加者が多い傾向があるので安全面に配慮が必要である。				
	組織、予算等	-				
改善目標	アクティブ運動教室や健康体操教室(65歳未満も含む)について、Xや区会回覧などで周知活動を行う。つくばウォークの日について、Xやつくスマなどを活用してより幅広い年代の参加を促す。運動普及推進員と協力して事故のないように実施していく。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	393 栄養改善事業						担当部課	保健部健康増進課
予算科目	01-040105-13 栄養改善事業に要する経費						係名	健康総務係
市長公約								
戦略プラン	Ⅱ-2	1	3	食育事業の推進			新規・継続	継続
	Ⅱ-2	2	2	ボランティア事業の推進			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	一部委託
個別計画	つくば市食育推進計画、第4期つくば市健康増進計画「健康つくば21」						事業期間	毎年度
根拠法令等	食育基本法						SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市内に在住、在勤、在学する者
目的	市民が、食に関するさまざまな知識と食を選択する能力を身につけ、生涯にわたって健全な食生活の実現を図る
概要 (取組内容)	食生活改善推進員の養成 地区組織活動の推進 食育普及活動

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,906	1,940	1,957	2,029	2,029	
	決算額	(千円)	1,828	1,936	1,941	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,828	1,936	1,941	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,350	12,307	12,481	12,481	12,481	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、市報、交流センター等での情報を発信する
企画・立案、計画	—
実行	市ホームページ、市報、交流センター等での情報を発信する
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	食生活改善推進員養成修了者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	8.0	12.0	10.0	20.0	20.0	0.0
指標の概要	(Ⅱ-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) (Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備) 食生活改善推進員養成講習会において必要単位を取得した者の人数						

2	指標名	食生活改善推進員活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	235.0	235.0	235.0	235.0	235.0	235.0
	実績	210.0	12.0	127.0	249.0	209.0	0.0
	指標の概要	食生活改善推進員が、地域住民に対して食育指導を行った回数					
3	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	食生活改善推進員の会員研修に、ロールプレイングを導入した。栄養改善事業の実施場所を増やし、参加しやすい環境の整備を推進した。市HPに食生活改善推進員協議会や食育バランスランチ等のページを作成し、つくスマで定期的に広報した。
成果	会員研修にロールプレイングを導入したことにより実践的研修を行えた他、経験が浅い会員と経験豊富な会員が情報共有する交流の場となり、食生活改善推進員の活動支援ができた。ドラッグストアやスーパーマーケットで食育イベントを開催し、市内各地で食育普及活動を行った。
課題	業務 栄養改善事業をより多くの市民に普及啓発してするためのアプローチ方法を模索する。 組織、予算等 栄養改善事業は専門性が必要であり、食育の推進には人員が不足している。また、地域での健康づくりを担う食生活改善推進員の活動も継続して支援する必要がある。
改善目標	食生活改善推進員の活動支援として、伝達活動の活動領域拡大を支援する。栄養改善事業では、関係部署と横断的な事業展開を行い、より多くの市民へ普及啓発を行う。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	395 こころの相談事業					
予算科目	01-040104-13 精神保健に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	成人保健係	
戦略プラン	II-2	1	4	ストレス解消やこころのケアの知識の普及	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市健康増進計画 つくば市自殺対策計画（令和元年8月施行）			事業期間	毎年度	
根拠法令等	自殺対策基本法 精神保健福祉法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	つくば市に住所を有し、精神疾患や精神的不安定状態の初期症状や前兆にある本人及び家族
目的	市民の精神的健康状態の維持
概要 (取組内容)	こころの健康相談事業：精神科医師による面接相談を年12回実施 保健師等による面接相談・電話相談・家庭訪問を随時実施 自殺予防週間（9月）、自殺防止月間（3月）にあわせて、自殺対策についての普及啓発及びゲートキーパー養成講座、インターネット上でメンタルヘルスチェックができる「こころの体温計」システムの提供を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,511	2,383	2,552	2,552	2,552	
	決算額	(千円)	1,297	2,206	2,210	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	960	1,093	1,116	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	337	1,113	1,094	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	20,871	20,895	21,116	21,036	21,036	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	152.00	190.00	163.00	130.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ゲートキーパー養成講座
企画・立案、計画	健康づくり推進協議会
実行	ゲートキーパー養成講座
評価、検証	ゲートキーパー養成講座受講者数

指標の推移

1	指標名	相談人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
実績	196.0	261.0	264.0	314.0	394.0	0.0	
指標の概要	(II-2-①一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援) 精神科医による相談と精神保健福祉士や保健師による面接・電話・訪問相談の延件数						

2	指標名	こころの体温計アクセス総数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80,000.0	80,000.0	50,000.0	55,000.0	60,000.0	65,000.0
	実績	40,744.0	29,499.0	31,103.0	43,358.0	50,451.0	0.0
	指標の概要	メンタルヘルスシステム「こころの体温計」アクセス総数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<p>中学8年生と中高年の男性向けのゲートキーパー養成講座をつくば市と包括連携協定を締結している企業やその他、関係団体に実施した。こころの体温計について区会回覧等で周知し、アクセス数増加に努めた。</p>	
成果	<p>市内8年生向けのゲートキーパー養成講座（こころの健康に関する講座）では、4校の申し込みがあり、生徒と併せて教職員が受講した。企業向けの養成講座では、3企業で実施し、集合型や動画配信型、ハイブリットでの講座開催と各企業の要望に合わせた形式で講座を開催し、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることのできる人を増やした。自殺対策講演会は動画配信で実施した。</p>	
課題	業務	<p>増加傾向にある自殺者の特徴に合わせた講座開催や、全国的に自殺者数が横ばいであることに対して市民に広くゲートキーパー養成講座や精神保健相談について啓発していく必要がある。</p>
	組織、予算等	<p>自殺者数の動向に着目し、支援方法を有識者会議等で検討していく。</p>
改善目標	<p>つくば市の特徴である20歳代から40歳代に自殺者数が多いことを踏まえて自殺対策や啓発事業を推進していく必要がある。また、市民全体にもメンタルヘルスに関する情報提供をしていく。</p>	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	035 母子保健指導に関する事業					
予算科目	01-040103-12 母子保健指導に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約				係名	母子保健係	
戦略プラン	Ⅲ-1	1	2	支援を必要とするこどもや家庭への支援の	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン				事業期間	毎年度
根拠法令等	母子保健法第9条 児童福祉法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	妊婦・産婦・乳児・幼児およびその保護者
目的	母親及び保護者、乳児又は幼児の健康の保持増進を図る。
概要 (取組内容)	妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施するため、母子健康手帳交付を始めとし、各種の健康教室、育児相談、あかちゃん訪問事業等を実施する。また、より支援の必要な方に対し、養育支援訪問等を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	16,304	25,644	26,210	53,884	53,884	
	決算額	(千円)	18,394	27,610	27,800	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,526	21,865	19,908	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	7,868	5,745	7,892	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	56,389	69,813	73,526	73,526	73,526	
	内訳	正職員従事割合	(人)	8.10	9.60	10.00	10.00	10.00
		正職員時間外勤務	(時間)	427.00	1,815.00	1,839.40	1,839.40	1,839.40
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページ、ライフプランすこやか、母子健康手帳交付及び出生届け出時に案内、つくっこ！すくすくアプリ、つくば子育てハンドブック
企画・立案、計画	—
実行	アンケート
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	母子相談延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	2,103.0	1,239.0	1,216.0	1,530.0	1,937.0	0.0
	指標の概要	すこやか健康相談、発達相談の件数 (他、出張子育て広場における相談158件、妊娠8か月アンケートフォロー電話相談225件あり)					

2	指標名	子育てに不安を感じたときに、対処できる親の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0
	実績	82.3	81.9	77.7	82.1	80.4	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①)子どもを安心して生み育てられる環境整備)1歳6か月健診、3歳健診時のアンケートで育てにくさを感じた際に相談できる場所を知っていると答えた親の割合					
3	指標名	あかちゃん訪問実施率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	99.5
	実績	97.8	95.8	98.5	96.7	99.2	0.0
	指標の概要	あかちゃん訪問対象者に対して訪問を実施した率					
4	指標名	(人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	883.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	伴走型相談支援事業として妊娠届出時の妊婦面談、妊娠8か月時のアンケート結果により電話相談・面談を実施し妊娠中の不安を軽減し、出産後主体的に育児に取り組めるよう支援を行った。
成果	妊娠届出時、妊娠期、出産から子育て期の保護者及び乳幼児に対し、相談事業、教育事業、訪問事業を実施し切れ目のない支援を行った。 出張子育て広場に出向き、計測・育児相談を行い乳幼児期の相談事業の拡大を図り、より多くの母子支援を行った。
課題	<p>業務</p> <p>妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を継続し、内容充実と妊産婦が地域の保健センターにいる保健師との信頼関係を構築でき、担当保健師が身近な相談相手となるような仕組みを整える必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>発達支援に関する他課との情報共有及び連携を図る。</p>
改善目標	妊娠8か月時のアンケートで情報を把握できない妊婦の支援について検討していく。 担当保健師を記載したカードを渡し、担当保健師が分かるようにすることで妊産婦の身近な相談相手になれるようにする。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	388 不妊治療費助成事業					
予算科目	01-040103-13 不妊治療助成に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約	23			係名	母子保健係	
戦略プラン	Ⅲ-1	1	3	出産環境の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市民(不妊検査及び一般不妊治療は妻の年齢が40歳未満。特定不妊治療は妻の年齢が43歳未満。)
目的	不妊で悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。また、子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じた適切な治療を開始することを促進し、少子化の進展を防止する。
概要 (取組内容)	<不妊検査及び一般不妊治療費の助成>自己負担額の1/2以内の額で上限3万円。 夫婦1組につき1回の助成。令和4年4月1日からの不妊治療費の一部保険適用により、助成対象となる費用は、令和4年3月31日までにを行った検査および治療に対する助成。期限は治療開始から1年3か月以内の申請<特定不妊治療費の助成>1回の助成は上限5万円。不妊治療費の一部保険適用により、助成対象となる費用は、体外受精及び顕微授精の治療終了が令和5年3月31日までの保険適用外分（県が交付決定したもの）の1回限りの助成。令和5年度は、令和5年3月31日までの経過措置分を助成し事業は終了とする。

コストの推移

項目		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円) 16,163	43,663	2,150	0	0	
	決算額	(千円) 36,885	18,914	106	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 36,885	18,914	106	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 3,167	3,048	2,763	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間) 178.00	132.25	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページ、窓口のチラシ、医療機関へのチラシの配布により市民に周知する
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	特定不妊治療助成金交付人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	210.0	315.0	300.0	40.0	0.0
	実績	179.0	203.0	371.0	256.0	2.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①)子どもを安心して生み育てられる環境整備)						

2	指標名	不妊検査及び一般不妊治療費助成金交付人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	80.0	120.0	100.0	5.0	0.0
	実績	0.0	110.0	224.0	94.0	1.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	不妊治療費の一部保険適用により、つくば市としての不妊治療費の助成は令和5年度をもって終了するが、今年度は経過措置として不妊検査や不妊治療に取り組む夫婦が滞りなく申請ができ、経済的負担軽減を図ることができた。	
成果	不妊検査費及び一般不妊治療費助成事業、特定不妊治療費助成事業とともに、経過措置として申請するものに対し、経済的負担軽減を図れた。	
課題	業務	不妊治療費の一部保険適用に伴い、事業は終了となる。
	組織、予算等	不妊治療費の一部保険適用に伴う経過措置が今年度で終了し、令和6年度は予算計上はなし。
改善目標	不妊治療費の一部保険適用に伴い、事業は終了とする。	

評価

市民ニーズ	2	今後は減少が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
優先度	-	今年度で事業が終了する。

方向性

方向性	終了	
理由	令和4年4月1日より、不妊治療費の保険適用拡大により、令和5年度は経過措置を行い事業は終了。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	398 周産期医療体制の整備事業					
予算科目	01-040101-14 医療環境整備に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約	20			係名	健康総務係	
戦略プラン	Ⅲ-1	1	3	出産環境の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	妊産婦及び産科医療機関
目的	だれもが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。
概要 (取組内容)	筑波大学との連携により、つくば市バースセンター及び寄附講座を開設し、市民の出産の場の安定的な確保に努める。また、バースセンター設置の効果等について「つくば市バースセンターに関する懇話会」を設置し、検証を行う。 つくば市産婦人科施設開設支援事業助成金により、市内に病院又は診療所を開設等しようとするものに対し、その経費の一部を支援する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	142,074	92,074	392,289	392,289	92,289	
	決算額	(千円)	92,070	34,778	36,139	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	92,070	34,778	36,139	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,344	1,399	1,419	1,419	1,419	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	412.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	バースセンターの分娩数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	120.0	120.0	120.0	130.0	140.0	150.0
	実績	112.0	138.0	88.0	103.0	87.0	0.0
指標の概要	バースセンターでの分娩数(1月～12月)						

2	指標名	市外で出産をした理由が「市内で予約が取れなかった」方の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	6.5	6.1	5.7	5.3	5.0
	実績	6.7	9.5	8.7	8.3	5.2	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①こどもを安心して生み育てられる環境整備) あかちゃん訪問時のアンケートで、市外で出産をした理由が「市内で予約を取れなかった」方の割合					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	「つくば市バースセンターに関する懇話会」を開催し、寄附講座継続の必要性や協定期間及びバースセンターの施設再整備について協議した。	
成果	つくば市バースセンターの施設再整備が工事の遅れにより令和6年度に延びることに伴い、「つくば市バースセンターの施設再整備に関する協定書」の有効期間を変更するため、協定を変更し、予算を次年度に繰越した。	
課題	業務	あかちゃん訪問のアンケートにて「市内で出産医療機関の予約が取れなかった」と回答があるため、市内で出産できる体制を整える必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	令和6年度に再整備されるつくば市バースセンター（12床）の周知を推進し、利用者数を増やしていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	093 不育症治療費助成事業					
予算科目	01-040103-13 不妊治療助成に要する経費			担当部課	保健部健康増進課	
市長公約	23			係名	母子保健係	
戦略プラン	Ⅲ-1	1	3	出産環境の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	
根拠法令等					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市民
目的	不育症に悩む夫婦の経済負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じた適切な治療を開始することを促進し、少子化の進展を防止する。
概要 (取組内容)	申請による助成金の交付。 不育症として、2回以上の流産・死産の既往がある場合を対象とし、保険適用外の検査費および治療費が対象となる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,005	1,000	1,018	1,018	1,018	
	決算額	(千円)	363	598	471	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	363	598	471	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	342	791	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	45.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページ、窓口のチラシ配布、近隣医療機関へのチラシ配布により事業の周知
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	不育症検査及び治療費助成金交付人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	20.0	20.0	20.0
	実績	0.0	0.0	8.0	14.0	11.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-1-①子どもを安心して生み育てられる環境整備)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	流産や死産を2回以上経験している夫婦が、早期に不育症検査を受け、必要に応じて適切な治療を開始することを事業の周知をもって促進し、不育症検査費及び、不育症治療費に対する助成を実施した。	
成果	不育症検査及び不育症治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。	
課題	業務	不育症検査及び不育症治療に取り組む夫婦が滞りなく申請し、経済的負担の軽減が図れるように、さらなる周知を実施する必要がある。
	組織、予算等	年度の見込み数を割り出し、適正な予算計上を図る必要がある。
改善目標	不育症検査及び不育症治療に取り組む夫婦が滞りなく申請し、経済的負担の軽減が図れるように、さらなる周知を実施する必要がある。他市町村の実施状況を確認しつつ、ニーズにあわせた助成を実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	